

経営理念 人と環境を大切に



「つながる、チカラ。」

半田市の旧中荻半六邸内に食と文化の魅力を繋ぐ
フレンチレストランHANROKがオープンしました



代表取締役 今津悠見

みなさん、いつもご購入ありがとうございます。地域ごとにイベントや活動が増えてきました。愛知県ではお出かけにお得なキャンペーンがあったり、少しずつ明るい方向に向かっているように感じます。感染対策はしばらく続きますが、社内でも何か交流できる場を作っていきたいと思っています。さて、皆さまのおかげをもちまして、11月6日HANROKをオープンさせることができました。沢山の祝い花も頂戴し、店内が華やかとなり、心より感謝申し上げます。アグメントと共に成長し、地域に愛され誇りとしてもらえるようなお店づくりをして目指して参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



半六邸
WEBサイト



「つながる、チカラ。」～つなげる人たち～ 8



「つながる、チカラ。」



Q. 鈴木さんはどのような想いで、
どのようなお店にしていきたいですか？

旧中荻半六の歴史と言いますか、地域に根付いたところでもありますので、これから地域をよく知って、地域を愛して、地域の方のことも好きになって、さらに地域の方からも好きになってもらえる、そういう関係を築きながら、地域の方に可愛がっていただいて、育てていけるように。そして、共に自分たちも成長していった恩返しができるようなお店にしたいです。

Q. 一緒に働く仲間へ一言お願いします。

大谷さんをゼロベースから山内シェフに色々教えていただきます。色々、ゼロから育てていく方がスタッフもお店も成長していくということで、プラスになっていると思います。今は大谷さんと力を合わせてがんばっています。

Q. お店のおすすめメニューを教えてください。

株式会社CHITA美人でHANROKをやらせていただくので、「こういうそばのカタチがあるんだ」というのを発見してもらえるよう、女性にも喜んでいただけるメニューを考案しています。



HANROK シェフ
鈴木 孝典さん

RESTAU K YAMAUCHI
シェフ
山内 賢一郎さん

Q. 山内さんはどのような立ち位置なのですか？
オープンするにあたって、オープニング監修という形で入っています。立ち上げは大変なので、僕の人脈・機材・オペレーション等のノウハウを鈴木シェフに教えています。料理人を長年やっても、立ち上げというのはまた別でゼロスタートになるので、スムーズにオープンできるように僕の今までの成功談や失敗談を伝えています。

Q. こだわりなどを教えてください。

知多半島は食材がとても豊富なので、地元の食材を使って料理を作り上げたいです。以前、海外で色々イベントやっていました。その国、その土地の風土が色々あるので、日本とその海外の風土を融合して新しい料理を作っていくというカタチです。こういう経験もプラスして、半田の土地柄と一緒にいけるといいです。

Q. 監修するにあたって、苦労された点などありますか？

旧中荻半六は、NPO法人で管理されていて、歴史のある建物なので内装や厨房などを触れないことに苦労しました。でも、触れない部分は昔から大事にされてきたところなので、守っていかなくてはと思います。



Relay Interview

リレーインタビュー

総合管理室 ▶ 資源リサイクル事業部



Q. 毎日のお仕事の流れを教えてください

加藤: 出社後、当日のスケジュール等を確認して、収集管理用タブレット・納品書・manifesto等準備して出発します。基本は、1人での作業になります。市からの委託業務などの場合は、2名での作業になります。回収する物によって、各市町のクリーンセンターへ捨てに行ったり、資源ゴミとして自社に持ち帰って選別したりします。戻ってきたら、車両の洗車を行い、会社に戻り、日報入力や当日の納品書・manifesto等を事務所へ提出して1日の業務は終了です。

Q. コロナ禍の回収で感じたことを教えてください

菱沼: 僕は主に事業所や飲食店から出るゴミの回収を行っているのですが、ゴミの量が減り作業自体は楽になりました。ただ、いつどこで感染するか分からない状況にあるので、車両には常に消毒を携帯して作業前後に使用していました。

Q. そのほか、お仕事で大変だと感じたことを教えてください

加藤: やっぱ、夏、暑いことですかね。でも、暑いんですけど嫌だなと思うだけで大変ではないかな。「暑いなあ」と思うだけです。

Q. ゴミの出し方など注意しなければいけないことがあれば教えてください

加藤: 資源ゴミの出し方ですね。ダンボールをそのままバラバラで紙も紙袋に入れて雑多に出されていると回収にとっても時間がかかるので、同じ資源ゴミでも、ダンボール・紙・雑誌など品目毎に分別して縛って出してもらえるとありがたいです。

菱沼: 可燃ゴミで中身を詰め込みすぎてしまうと破れてしまうことがあるので、特に生ゴミなどを出すときは水分をよく切ってから出してもらおうと思います。

アグメントで働く車

パッカー車 part1 「仕組み編」

まちを回って、ゴミを回収するパッカー車。みなさんが健康で安心して暮らせるよう、まちをキレイにする車です。仕組みはどうなっているのでしょうか？

Q. ごみをどうやって積んでいくの？

後ろの閉まっている部分(テールゲート)を開けてごみを中に積み込みます。たくさん収容できるよう、清掃員がボタン操作で調節しながら詰め込み、クリーンセンターまで運びます。パッカー車の横にはちりとりとほうきが常備しており、ゴミが散らかっているところがあったらきちんと掃除します。



Q. ゴミは中でどうなるの？

積んだゴミは、圧縮板という頑丈な板で押し込まれるため、たくさん積めるようになっています。可燃ゴミの袋から出た水分は板に空いた穴から排出され、ギュッと圧縮されます。



Q. 積み込んだゴミはどうやって下すの？

内部には排出版という板があって、ゴミを下ろすときに中からかき出します。ゴミを出した後は、毎回、内部をキレイに清掃してから車庫に戻ります。



▶▶ 次号は、パッカー車part2「安全機能編」です。

AGUMENT SNAP

アグメントのスタッフが飼っているかわいいペットたちを紹介します。左から、澤田家「ミックス(チワワ・マルチーズ)/モモ」、高橋家「雑種/みーちゃん」、竹内家「パピヨン/アリス」、西村家「チンチラ/チム」



第1回 社員の自慢のペット

PICK UP

阿久比町商工会企画「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う町内飲食店の応援」に賛同し、当社でも昼食の弁当として活用しました。メニューが豊富で選ぶのも楽しく、みんなでおいしく頂きました。



今後の予定

2022年
3月3日

知多地域学生就職情報センター主催
「合同会社説明会るびあん2023」
出展



編集後記

今回初めて担当させていただきました。どんな社内報にするか自分で決めて、インタビューするのは不安ばかりでした。ですがHANROKと環境部へのインタビューは想像以上に面白いお話が聞けて、自分自身も楽しむことができました。事務室にいると作業員さんとお話する機会も少ないので、これからも社内報を通じて色んな人とコミュニケーションをとっていきたいです。読み応えある社内報ができたので最後まで目を通していただきたいです。今回協力してくださった皆様ありがとうございました!!